

授業改善書

科目名	会計学総論
担当者	濱 本 道 正

授業の概要

この授業では、会計学全体の基礎理論を講義する。進め方としては、管理会計、税務会計、会計監査、非営利会計など現代会計の諸領域について概説したあと、主として財務会計の基礎について講義する。財務会計制度において公開される財務諸表は複式簿記の技術に基づいて作成される。そこで、さまざまな企業取引の簿記処理法を習得させることにも留意する。

授業の問題点

簿記・会計という科目の特性を踏まえ、繰り返し予習・復習の重要性を強調したにもかかわらず、授業外学習を行う学生が比較的少なかった。
質問や発言がやや低調であった理由としては、取り上げたテーマ・論点が多岐にわたったため、学生の理解度が十分でなかったことが考えられる。

授業改善の課題・方策

授業外学習への取り組みを高めるため、小テストを随時実施することで、学生に予習を行うインセンティブを与えるようにする。
質問や発言を積極的に行うよう、取り上げるテーマや論点を整理することにより、学生の理解度を高めるようにする。
粉飾決算事件など当該科目に関連して経済社会で現実に生起している問題への関心を高めるため、メディア報道等を素材に学生とのコミュニケーションを図る(質問や発言を引き出す)よう工夫する。

その他